

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月1日

事業所名 コペルプラス 八尾教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		限られた指導員数で安定して療育を提供できるよう4教場中3教場を使用しております。	
	②	職員の配置数は適切である	5		関連法令を遵守し、現在その基準を上回って配置させていただいています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		教室が2階に位置しており、建物の構造上エレベーターの設置がなく、皆さまには階段をご利用いただいている状況です。その為、利用者の状況に応じ、個別に対応出来るよう日々見守り、声掛けを行っております。必要時は1階まで同行し、お子様に危険の無いよう引き続き配慮してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			レッスンを提供することだけでなく、ご利用いただく皆様や職員が快適に過ごせる清潔な状態を引き続き保てるようにしてまいります。また、お子様に危険の無いよう定期的に安全点検を行い、安心してご利用いただけるようにします。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		PDCAサイクルは開校後半年のみ使用。以後は自発管MTG時に提出。	左記のとおり、開校後半年間は毎月（毎週）SV指導の下、会議を開催し、職員全員が指導を受けてまいりました。以後は児発管兼管理者がSV・児発管リーダーら諸先輩らの指導の下、目標設定をし、振り返りを行ってまいりました。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		実施中	今回、新規に開校し、初めて保護者等向け評価を実施いたしました。アンケート集計後、職員皆で結果を共有し、より良い支援を目指し、業務改善について話し合っており、それをこれから実践してまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	2月実施予定	上記の通り、開校後今回初めて11月に事業所向け、保護者向けに実施をいたしました。結果は2024年2月にHP上にUPされ、公表される旨、案内配布時にお伝えしております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	行っていない	（現在、行っておりません。）

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			毎月事業所内で実施をし、加えて必要時は臨時で行っています。外部研修にも積極的に参加を試みており、日々自主的に質の向上を目指しております。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		お子様・保護者様にアセスメントを行い、出来る限り多くの情報を集めた上で、個別支援計画書（原案）を作成しております。さらにそれを元に保護者様・指導員らと話し合いを重ねて本案を作成いたしました。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		左記のとおり、アセスメントツールとして、用紙（アセスメントシート）を保護者様にご記入いただき、お子様へのアセスメントも規定の用紙に指導員が記入する形で行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		日々お子様のご様子を各職員で共有し、保護者様よりご要望を確認しながら支援内容について検討してまいりました。必要時は保護者様ご了承の上、関係機関とも連携し、都度計画も変更しながら柔軟に対応してまいりました。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		各指導員と個別支援計画書記載の内容についてカンファレンスを重ね、それを踏まえて日々療育を提供してまいりました。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎月月末に実施のコミュニケーショントレーニングについては各職員持ち回りで担当者を決めて立案、チームで検討を重ねて実施しております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		来所のお子様には毎回異なる教材で療育を展開できるよう、療育表で管理する等配慮しております。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		個別での活動を期待して多くの方が当方に来所していただきますが、今後の集団生活を想定し、集団での活動での効果や影響等をお話しております。お子様同士の関わりからの学びや効果を期待され、現在は（ご家庭の事情が合う方は）個別・集団	

					両方の活動に参加されてい ます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず 打合せをし、その日行われる支 援の内容や役割分担について確 認している	5		毎日の朝礼・終礼に加え、昼休 み前後のカンファレンスも日々行 い、日々の支援や業務内容等 について確認をしながら進めてお ります。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必 ず打合せをし、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録をとる ことを徹底し、支援の検証・改善 につなげている	5		サービス提供実施記録を毎回 作成し、そこに細かくご様子等を 記載しています。また、それを元 にカンファレンスを日々行い、どの 職員も振り返ることが出来、今 後の支援に活かせるようにしてお ります。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児 童発達支援計画の見直しの必 要性を判断している	5		関係法令を遵守し、最低 6 か 月以内に見直しを行っていま すが、お子様の状況や保護者様 の要望により必要時は見直しを 行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護	㉑	障害児相談支援事業所のサー ビス担当者会議にその子どもの 状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	5		現在行われていない	このアンケート実施時（11 月）は利用者のサー ビス担当者会議は行われていませんでした。しか し、12 月に 2 名の利用者のサービス担当者会議 に参加し、関係機関と連携した支援を行っていま す。 「会議」ではありませんが、相談支援専門員が付 いていないお子様には当方から関係機関に連絡を し、連携しておりました。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援 等の関係者や関係機関と連携 した支援を行っている	5		お子様が利用されている療育教 室や子ども支援関係機関を訪 問し、情報共有させていただ いています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや 重症心身障 害のある子ども等を支援している場 合） 地域の保健、医療、障害福祉、 保育、教育等の関係機関と連 携した支援を行っている		4		（現在、医療的ケアが必要なお子様はいらっしゃ いません。）

者 との 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4		(現在、医療的ケアの必要なお子様はいらっしゃいません。)
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4		当方利用のお子様の中で、保護者様よりご要望があった場合、園などを訪問し、情報共有はさせていただいている。また、当方に来所され、当方での様子を見学されることもありました。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4		新規開校後、まだ小学校に上がるまでの支援は行えていません。現在利用中の年長児が小学校や支援学校に上げられる際、ご要望があれば情報共有等行い、入学後の生活の一助となるようサポートしてまいります。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		自立支援協議会に出席し、他事業所や各センターの方々とお目にかかる機会をいただいています。必要時は連絡・相談をし、ご助言をいただいたり連携させていただいています。また、研修のご案内も連絡を受けており、必要な研修には積極的に参加させていただいています。	自立支援協議会に出席し、他事業所や各センターの方々とお目にかかる機会をいただいています。必要時は連絡・相談をし、ご助言をいただいたり連携させていただいています。また、研修のご案内も連絡を受けており、必要な研修には積極的に参加させていただいています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1		保育所や認定こども園、幼稚園等とは利用者支援の件で連携させていただいています。しかし、障がいの無い子どもと一緒に活動する機会は現状ありません。必要時、地域のイベントなどがあれば今後参加を検討してまいります。

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5			現在、八尾市の自立支援協議会や同協議会主催の研修等に管理者が代表して参加させていただいています。今後はスケジュールを調整し、各指導員も出席できるようにし、教室内だけではなく地域との関わる機会を増やし、八尾市の福祉の担い手として広い視野を持った人材育成に努めます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			当方は保護者様と一緒に毎回通所していただくスタイルの施設であり、レッスン提供時は鏡越しにレッスンの様子をご覧いただいています。毎回保護者様が来所なさるので、お話しする機会は多く、都度おうかがいしております。また、1時間のレッスンのうち、終了10分前は振り返りの時間を設けており、毎レッスン毎に担当の指導員とお話しすることも大切にしております。引き続き、お話ししやすい関係構築に努めてまいります。

保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5		毎月月末の2日間はお子様にコミュニケーショントレーニング（＝コミユトレ）を実施しており、同時にペアレントトレーニングを行っております。事前に案内と共に出欠表をお渡しし、ご希望の保護者様と一緒にテーマを決め、皆でお話しをしています。全員一緒に実施は難しい為、いただいたご意見は共有出来るようそれぞれにお伝えしています。	
	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に1～1.5時間頂戴し、保護者様に管理者より説明させていただいています。利用者負担は多くの方が無償化の対象年齢であり、ご家庭から負担いただく分はないとしてもご説明させていただいています。また、個別支援計画書の備考欄に記載の加算に関することや、代理受領書配布時にも再度説明させていただいています。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			（保護者様に左記ガイドラインの全てをお見せしてお話し…までは行っていませんが、同ガイドラインに則り）保護者様と事前にお話ししたご意向やお子様の様子、指導員から見たレッスン中の反応や様子、利用先の園や他事業所の様子も踏まえて支援計画書を作成しています。説明の際は具体的に分かりやすく心掛けており、そこで改めてご意向を確認し、了承の上、支援を進めております。
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		当方はお子様と保護者様が一緒に通所していただくスタイルであり、レッスンの際は毎回保護者様とお話しするチャンスがあります。必要時は助言やそれに対する支援をさせていただいています。児発管やレッスンを担当した指導員が保護者様と話した内容はその都度職員間で共有し、日々の支援に活かすことが出来るようにしています。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	保護者会：今後行う予定 保護者同士の連携：ペアトレの際促している	保護者会は年明けの2024年3月までに開催を予定しております。保護者同士の交流としては年数回の保護者会以外、毎月月末に実施のペアレントトレーニング開催時に行っており、お話ししやすいように配慮しています。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			日々の相談や申し入れについては、即時対応をすることを心掛けてはいましたが、1度折角のご相談にすぐに対応していないとご指摘をちょうだいしました。それを踏まえ、皆で即刻話し合いの場を設け、業務体制を見直しました。今後そのような事の無いよう、保護者様・お子様（利用先の園や他事業所等）からのご意見に対し、どのように迅速に適切に対応していくべきかを考える良いチャンスをいただきました。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		お手紙やLINEを活用	定期的な解放は発行しておりません。行事内容（コミュレ等）やその他必要な連絡事項に関してはお手紙での連絡に加え、LINEなどのSNSを活用しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報保護法等関係法令を遵守し、業務を進めております。保護者様には契約時、個別に同意書を提示し、ご説明の上同意いただき、同様に各職員も入職時に取り交わしております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		手話や点字、筆談でのやり取りが必要な方は現在いらっしゃいません。しかし、口頭でのやり取りより視覚的な指示の方が理解しやすいお子様には絵やカード等で示し、見通しを持って行動しやすいようにしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		地域住民を当方の活動にご招待するような行事は現在行っておりません。当方開校時に地域の方々にはご挨拶に出向き、必要時はやり取りさせていただいています。今後は地域に開かれた事業運営として、地域の行事にはスケジュールを調整して参加を目指し、各種イベント開催時の活動にも積極的に参加してまいります。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			各種マニュアルは策定し、共有出来るよう教室内に配置しています。また、事業所内で必要な研修も行っております。保護者様にもご協力いただき、避難訓練も実施いたしました。今後も様々な災害を想定して避難訓練等を実施し、定期的な安全確認の実施等、お子様・保護者様が安心して安全に過ごせるようにいたします。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約時にお子様の情報を細かく聞き取り、情報をちょうだいしております。その後、状況が変わったらお伝えいただくように保護者様にはお願いしており、当方から	

					も適宜確認するようにしています。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4			現在利用中のお子様で、アレルギーに対して対応の必要な方はいらっしゃいません。また、水分補給委が、当方利用中に何か食べ物を口にする場面はありません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1			各職員で日々様々な状況を話し合っていますが、ヒヤリハット案件に関してはすぐに口頭で確認し合い共有し、即時対応、改善するようにしています。また、追ってヒヤリハット報告書を上げ、必要な対応を皆で改めて考えてより良い支援を提供出来るよう努めています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				虐待防止委員会を事業所内に設置し、定期的話し合いの場を設けております。具体的なエピソードを例にあげ、今後どのような対応が適切かを話し合い、日々の支援に反映させております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5				身体拘束の禁止についても上記④⑥と同様に話し合いの場を設け、皆で具体例を元に支援について振り返り、今後の対応を共有しております。 保護者様への説明については、契約時に身体拘束の禁止に関する同意書を説明し、了承の上、ご同意いただいています。必要な場合は支援計画書にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。